

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311051000693
施設名	にじいろ保育園原町
施設所在地	東京都目黒区原町1-5-5
法人名	ライクキッズ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動遊び

<テーマの設定理由>

・園庭やホールの無い園舎の為、運動の活動に制限がある中、限られたスペースで月に一度、専任の講師による体操の指導を行っている。
楽しんで参加しているが、身体を動かすことの楽しさを感じ更にいろいろな用具にも触れることで興味の幅が広がればと思い設定した。

・体操の時間だけではなく普段の保育でも楽しめるような環境作りも同時に行いたいと考えた。

2. 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

マット・平均台、・鉄棒・跳び箱・トランポリン・滑り台でサーキットを行う。
リズムあそびや巧技台で体感を鍛える。
乳児の運動遊びを 広げていくよう感触遊びを行っていく。
跳ぶ・走る・のぼる・滑る・くぐるなど体の色々な部分を工夫して行う運動を自分で考え行い体験してみる。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・あるく・走る・飛ぶ・のぼる・おりるなど身体を動かし体験し体感を鍛え考えながら動いてみる。

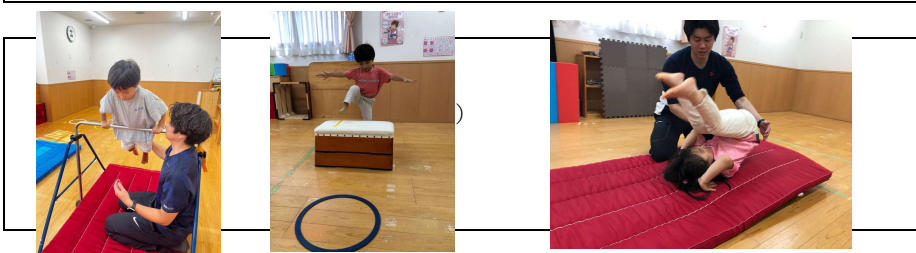
・ぶら下がるなど身体を動かし体験し色々な動きを考え取り入れてみる。リズムに合わせ踊ってみる。

・自分のできる範囲を考え、話し合いながらサーキットを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

3歳児、4歳児、5歳児が実施。準備体操から始まり、マット、フラットリング、跳び箱、鉄棒を使用し、運動遊びを行う。

- ・活動の為に準備した素材や道具…鉄棒、マット、跳び箱、ジャンプ台
- ・環境設定…広いスペースを確保するため、パーテンションの壁を取り保育室を2部屋分つかう
- ・3歳児…準備の段階から体操教室を楽しみにしている様子。体操の教諭に「早くやりたい」跳び箱つかうの?」など質問し、使用する道具に興味津々で観察していた。体操教室の時間になると教諭の見本や話に真剣に耳を傾けている。準備体操としてくまさん歩きなどを行う。教諭の真似をしながら体を動かすが、「難しい」と呟く児も見られた。その後は跳び箱乗りを実施。手を使わずに、跳び箱に乗るということは初めてだったが、自信をもって楽しんで取り組む様子がみられた。
- ・4歳児…鉄棒の「つばめ」と「前回り」に挑戦する。体操の先生の見本を見る。「できるよ」「むずかしそう」など、前向きな言葉と、緊張したような表情をしていたり、反応は様々。つばめを行う際は、体操の先生の膝に乗る、そのあとはお辞儀をすると前回りができるコツを教えてもらい、「できた」と喜んでいた。
- ・5歳児…マットを使い後転に挑戦をする。「やったことない」と言う児もいたが体操の先生の見本を見ると「やりたい」「できそう」と前向きな発言をする児が多かった。実際に行ってみるとまっすぐ後ろに回ることが難しい様子が見られたが楽しんで取り組んでいた。また、回ることが難しい場合はマットの下にジャンプ台を置き、坂を作ることで回りやすくなりスムーズに後転をすることができていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

体操講師に体の動かし方を教わることで、子どもだけでなく保育者も体操の指導方法や効果的な声掛けを学ぶことができた。客観的に子ども達個々の活動への取り組み方を目で見て知ること、子どもたちの「挑戦してみたい」「やってみたい」という気持ちに寄り添い、アドバイスすることができ、子どもたちのやる気を次の体操指導を目標に持続し、成果を上げ自信につなげることが出来た。

動画を使用し、子どもたち自身の姿を映像で観ることで、客観的に捉えられ自らなりたい姿をイメージするようにしていこうと思う。

楽しみながら体を動かす機会を設けることで、走る力や体を支える力がつき、ともだちと一緒にもっと上手になりたいという気持ちも育ち、鉄棒や跳び箱を進んで行う姿があった。